

四季折々の表情を魅せる日光三名瀑のひとつ



霧降の滝

今月の日光ブランドは「霧降の滝」

霧降の滝は、霧降川の上流にある上下2段の滝です。上段が25メートル、下段が26メートル、高さは75メートルあります。滝の水が岩に当たり、霧を降らせるように飛び散る様子から、その名がついたと言われています。

春には、霧降の滝入口のつつじヶ丘一帯に広がるヤマツツジの群落や、アカヤシオやシロヤシオ、トウ

ゴクミツバツツジなど、色とりどりのツツジの花を楽しむことができます。夏は深い緑と澄んだ空気に包まれ、ひとときの清涼感を満喫できます。秋には赤や黄色の紅葉が織りなす屏風絵のような光景の中に、絹糸のような滝の白のコントラストが息をのむ美しさです。また、冬には周囲の雪景色と相まった静かなモノトーンの風景を楽しむことができます。

かつては、20分ほど歩いて滝壺に行くことができました。滝壺は、扇のような形で、床滑の岩盤に幅一杯、目一杯に広がって滑り落ちています。霧降の滝は、華厳ノ滝、裏見ノ滝とともに日光三名瀑に数えられ、華厳ノ滝とともに日本の滝百選にも選ばれています。その美しい様子から、江戸時代を代表する浮世絵師・葛飾北斎によって描かれたほどの名勝です。

秋の深まる霧降の滝へ、ぶらり散歩に出掛けてみてはいかがでしょう。

小杉放菴記念日光美術館

〒321-1431 日光市山内 2388-3 TEL：50-1200
ホームページ <http://www.khmoan.jp/>

市民割引券

(1枚につき、5名様まで有効)

開館時間：午前9時30分～午後5時
休館日：毎週月曜日(祝日などの場合は翌日)

KOSUGI HOAN
MUSEUM OF ART,
NIKKO



切り取ってご利用ください

催し物のご案内

日光市市制施行10周年記念「時空を超えてつむぐー多和英子 vs 放菴・達吉・鉄五郎」展の開催に合わせて、下記のイベントを開催します。

1.アーティストトーク

近代日本美術史に名を残す3人とともにつむぎ出されるものは何か。

本展出品作家の多和英子氏が自作を前に語ります。

と き：11月28日(土)午後1時30分～2時30分

場 所：美術館エントランスホールおよび展示室

講 師：多和英子氏(彫刻家・本展出品作家)

参加料：美術館の入館料のみで参加できます(事前申込不要)

2.シンポジウム

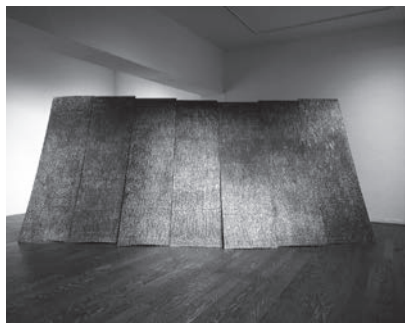
「時空を超えてつむぐーこの展覧会が各館にもたらしたもの」と題して、この展覧会の各巡回先の担当学芸員が全体を総括します。

と き：11月29日(日)午後1時30分～3時

場 所：美術館エントランスホール

進 行：山田敦雄氏(本展実行委員/目黒区美術館学芸員)

参加料：美術館の入館料のみで参加できます(事前申込不要)



ウエルディング タイム
多和英子作「Welding 698 time」

楽しそうな
イベントだぞ！



あなたの健康寿命、
延ばしましょう！

7

くわしくは 健康課 保健指導班 ☎(21)2756

の湯」に行くのを楽しみにしています。

以上、無理なく楽しんでチャレンジ達成できたようです。まだにっこう健康マイレージにチャレンジしていない市民の皆様さん、ぜひチャレンジしてQOカードと温泉入浴券を手に入れて、市営温泉湯めぐりを楽しんでください。

◎ウォーキング参加者募集中！

健康マイレージのボーナスポイントを手に入れることができるウォーキング教室を開催しています！

場所は、日光だいや川公園です。晩秋、初冬の自然の中を気持ちよく歩いて

ボーナス

ポイント

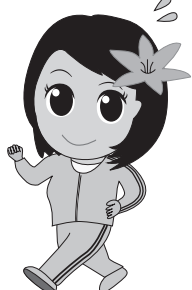
を獲得し

ましょ

う。申込

みは健康

課へ。



ぶらり日光
ブランド探訪
vol.19

くわしくは
総合政策課

日光ブランド戦略室 ☎(21)5131

進め！

地域おこし協力隊



くわしくは

地域振興課

地域振興係 ☎(21)5147

皆さんこんにちは！ 地域振興課の福田です。

今月号では、9月2日(水)～4日(金)にかけて那須塩原市で開催された「地域おこし協力隊栃木県サミット」を紹介します！

このサミットは、昨年益子町で第1回が開催され、今年で2回目の開催となります。平成23年に足尾地域と栗山地域で県内最初の協力隊員が活動を開始して以来、9月時点で9市町33名の協力隊員が活動を行っています。今後ますます増えていくことが予想される中で、県内の協力隊員同士の交流や情報・意見の交換を通じて、隊員一人一人の不安や悩みの解決、活動の充実を図るために開催されています。

サミット初日は、協力隊員を対象とした研修を行いました。講師として招かれた、エリア・イノベーション・ファイアンス代表理事の木下氏から、地域の再生と事業経営を結びつける手法などの講義を受け、協力隊員としての任期中だけでな

く、任期後の定住まで見据えたアドバイスがありました。2日目からは県内の関係自治体の職員も加わり、それぞれの隊員の活動や自治体の取り組みを互いに発表し合いながら、情報の共有を図りました。

市の協力隊員8名もこのサミットに参加し、現在の活動状況や今後の方向性について発表を行い、他市町で活躍する協力隊員と意見交換などをする事によって、大きな刺激を受けました。

隊員からはこのような交流の場の継続を希望する声が多くある中で、これからも市内外の方々との交流の場を積極的に設けていきたいと思っています。さまざまな人と出会いたい、これまでも以上の幅広い視野やネットワークを活かした活動にこれから目も離れません！



活動を発表する中井隊員